

二ノ五、後二条師通記

出典 大日本古記録、後二条師通記上

解説 後二条師通記は藤原師通（二〇六二〜九九九）の日記。師通は関白頼道の孫。この記の入道殿は藤原道長と思われる。

原文

寛治四年（二〇九〇年）六月二十九日壬戌の条

（朱）「道次參春日否事」

天晴。摂政殿御使盛長朝臣到来。仰云。春日參詣事如何。入道殿笠置御詣。殿侯由被仰也。見入道殿御記。春日詣未見。追可侍也。

読み下し文

天晴る。摂政殿御使い、盛長朝臣到来す。仰せ云うに春日参詣の事、如何。入道殿の笠置御詣に殿侯う由を仰せらる也。入道殿の御記を見るも、春日詣は未見なり。追って侍るべき也。